

# モリブデン国際価格、一進一退続く

## 中国の輸入動向が翻弄

高張力鋼や特殊鋼の原料となるモリブデンの国際価格が一進一退の動きとなっている。高炉メーカーなどが使う三酸化モリブデンのスポット価格は先月末、4カ月ぶり高値の18ドル台後半（純分価格）まで上昇したが、先週に入ってから反落。再び18ドルを割り込んだ。最大の需要国、

中国の購入姿勢が不安定で、マーケットは中国の動向に翻弄されている形だ。ただ鉄鋼向け需要の減速懸念は消えておらず当面は「頭の重い展開になる」（アドバンストマテリアルジャパンの松村洋・合金鉄部部長）との見方が有力だ。

先月末の上昇は中国の買いがきっかけ。スポット価格は今年2月から3月にかけて上昇し一時は19ドルを突破した。しかし、その後は右肩下がりとなり8月中旬には14ドル台まで下落。割安感の台頭でトレーダーなどが買いに入った形だ。こうした動きに反応してスポット価格が上昇した途端、再び購入意欲が低下、価格を押し下げた。先行きも中国の購入スタンスにより価格が変動するパターンが続く公算が大きく、当面、調整局面となりそうだ。

